

必ず誰かと交換して  
赤ペンを入れてもらうこと

作業をした人	C1	
丸付けをした人	C1	

### テンの打ち方を考える

前回に引き続き、本多勝一氏の原則（『中学生からの作文技術』より）

- ・テンは適当（いいかげん）にうってはならないし、うつべきテン、うってはならないテンがある。
- ・長いかかる言葉が二つ以上あるとき、その境界にテンをうつ（第一原則）。
- ・語順が逆順の場合にテンをうつ（第二原則）。
- ・筆者の思想としての自由なテンもある。

**A** 下線部分をテンを加えたり減らしたりしてわかりやすく書き直してみましょう。  
働きざかりと思われる年齢の人の急死が報じられるのをみると、ついろいろと考えさせられる。病名が心筋梗塞だと元気にまかせて、過労をかさねたのではないかと思い、ガンだと、どうして早期発見できなかったのかと気にかかる。

**B** 血まみれなのは犯人です。1、語順を並び替える方法と、2、テンを加える方法で、書き直してみましょう。

山下刑事は血まみれになって逃げ出した犯人を追いかけた。

1,

2,

**C** 1、語順を並び替える方法と、2、テンを加える方法で、書き直してみましょう。  
Aが私がふるえるほど大嫌いなBを私の親友のCに紹介した。

1,

2,

**D** 次の二つの文のニュアンスの違いを書きましょう。

- ①しかし彼女の悲しみはそんなことで消えるものではなかった。
- ②しかし、彼女の悲しみはそんなことで消えるものではなかった。

**E** 次の文のテンは必要かどうかを考えて、思ったことを書きましょう。

私をつかまえて来て、拷問にかけたときの連中の一人である、特高警察のミンが、大声で言った。

**F** テンを使わずに漢字などを用いてわかりやすく書き直しましょう。

すもももももももです。